ISO/TC 8/SC 1（海上安全分科委員会）担当分

議長：宮崎恵子氏（（一財）日本舶用品検定協会）、幹事国：米国（ANSI）

担当	規格番号	標題	標題（邦訳）	概　要	JIS化の状況
SC 1	ISO 799-1: 2019	Ships and marine technology - Pilot ladders- Part 1: Design and Specification	船舶及び海洋技術－パイロットラダー-第1部：設計および仕様	パイロットラダーに関するIMO要件を補完するものとして取り纏めたISO 799: 2004を、今日の船舶大型化に伴い、IMOの強制規則及び本規格に記述されている性能要件への適合を確保するため改訂したもの。決議（ISO/TC 8/SC 1 Resolution No. 223）により、799を3部構成とすることが採択された。 第1部は、ラダーの材料、構造、試験および検査などについて取り纏めたもの。 ISO 799:2004はSOLAS第5章第23規則で参照されている。	ISO 799: 2004の対応規格 JIS F 2615:2006 (MOD)
SC 1	ISO/DIS 799-1	Ships and marine technology — Pilot ladders — Part 1: Design and specification	船舶及び海洋技術－パイロットラダー-第1部：設計および仕様	MSC.576(110)に整合させるため、ISO 799-1を改訂することが、2026年6月に開催された、マルセイユ総会で合意された。	–
SC 1	ISO 799-2:2021	Ships and marine technology - Pilot ladders- Part 2: Maintenance, use, survey, and inspection	船舶及び海洋技術－パイロットラダー-第2部：保守、利用、検査および点検	パイロットラダーの点検、保守、記録、保管および利用の要件を取り纏めたもの。	–
SC 1	ISO 799-3:2022	Ships and marine technology - Pilot ladders- Part 3: Attachments and associated equipment	船舶及び海洋技術－パイロットラダー-第3部：付属品および関連備品	パイロットラダーの付属品および関連備品に関する要件を取り纏めたもの。	–
SC 1	ISO 4001:1977	Shipbuilding - Inland navigation - Raft-type life-saving apparatus	造船－内陸航行船－いかだ型救命器具	内陸航行船用の固型式（非膨脹式）いかだ型救命装置の目的、材料及び主な技術的要求事項について取り纏めたもの。	–
SC 1	ISO 4143:1981	Shipbuilding - Inland vessels - Open rowing lifeboats	造船－内陸航行船－無甲板手こぎ式救命艇	1974年SOLAS条約ではカバーされていない内陸航行船用の開放型手漕ぎ救命艇の型式、主な特性、設計要求事項及び設備について取り纏めたもの。	–
SC 1	ISO 5476:2023	Ships and Marine Technology — Virtual reality and simulator training equipment and systems for lifesaving appliances and arrangements	船舶及び海洋技術－救命設備用のバーチャルリアリティ及びシミュレータの訓練装置およびシステム	救命設備の訓練、操練及び保守に用いられるバーチャルリアリティ及びシミュレータ装置及びシステムの一般規定及び最低基準を取り纏めたもの。【米国主導】	–
SC 1	ISO 5488:2015	Ships and marine technology - Accommodation ladders	船舶及び海洋技術－アコモデーションラダー	商船（客船を除く）に使用される船側はしご（舷梯）に係る要求事項及び試験の方法を取り纏めたもの。 2020年10月から予定されている定期見直し投票で米国が改訂の提案をする予定。	JIS F 2605 (MOD) JIS F 2621 (NEQ)
SC 1	ISO/DIS 5488	Ships and marine technology - Accommodation ladders	船舶及び海洋技術－アコモデーションラダー	2026年5月を〆切に実施されたCIB投票（委員会内投票）結果に基づき、改訂することが合意された。	–
SC 1	ISO 5489:2024	Ships and marine technology - Embarkation ladders	船舶及び海洋技術－救命艇用なわばしご	救命艇乗込用なわばしごに関するIMO要件を補完するものとして取り纏めたもの。IMOの強制規則には乗込用はしご承認のためのプロトタイプ試験についての詳細な要件が規定されていないため、本規格に記述されている試験方法は、IMO要件には含まれていないが、IMOの強制規則及び本規格に規定されている性能要件への適合を確保するために取り纏められたもの。	–
SC 1	ISO 7061:2015	Shipbuilding - Aluminium shore gangways for seagoing vessels	造船－外洋航行船用アルミニウム製ショアギャングウェイ	船舶から陸上への軽量で使い勝手の良い安全なアクセス手段として主として乗員が使用するアルミニウム製ショアギャングウェイ（タラップ）で船上に搭載するよう設計されたものの要求事項について取り纏めたもの。適用対象は水平又は30度以内の傾きで使用されるタラップで、これ以上の傾斜角で使用するものについては踏板、デッキに特別な配慮が必要である。	JIS F 2613 (MOD)
SC 1	ISO 7061:2024	Shipbuilding - Aluminium shore gangways for seagoing vessels	造船－外洋航行船用アルミニウム製ショアギャングウェイ	船舶から陸上への軽量で使い勝手の良い安全なアクセス手段として主として乗員が使用するアルミニウム製ショアギャングウェイ（タラップ）で船上に搭載するよう設計されたものの要求事項について取り纏めたもの。	–

SC 1	ISO 7364:2016	Ships and marine technology - Deck machinery - Accommodation ladder winches	船舶及び海洋技術－甲板機械－舷梯用ウィンチ	電気、油圧又は空気圧駆動式のウインチ及び無動力ウインチの要求事項及び特性について取りまとめたもの。なお、ウインチ駆動用発動機の要求事項は含まれない。 MSC.1 Circ. 1331で参照されている。	－
SC 1 (SC 4より移管)	ISO 13122:2011	Ships and marine technology - Launching appliances for davit-launched liferafts	船舶及び海洋技術－ダビット進水式救命いかだの進水装置	ダビット進水式救命いかだの進水装置の性能、設計、構造、運用方法、安全性、点検方法、保守及び試験に関する要求事項について取り纏めたもの。 2018年9月のTC 8総会で、審議をTC 8/SC 1に移行する旨の決議387が出された。 Resolution 387 Based on an internal collaboration agreement reached by SC1 and SC4, TC8 re-affirms that all standards on life-saving appliances arrangements (such as those covered by SOLAS Chapter III and LSA Code) would be with SC1 and consequently resolved to transfer ISO/AWI 23574 from SC4 to SC1 for completion under SC1and its WG1. Noting this TC8 also agreed to transfer published standards ISO 13122:2011, ISO 15516:2006 and ISO 22673:2008 from SC4 to SC1 at the next revision.	－
SC 1	ISO 15370:2021	Ships and marine technology - Low-location lighting (LLL) on passenger ships -- Arrangement	船舶及び海洋技術－旅客船用低位置照明－配置	1974年SOLAS条約2000年改正第Ⅱ-2章第13-3-2-5-1規則並びにIMO消防設備コードに規定する旅客船用低位置照明の承認、取付け及び保守に関する要求事項について取り纏めたもの。	JIS F 8010:2007 (IDT)
SC 1	ISO15370:2021/AMD 1:2023	Ships and marine technology — Low-location lighting (LLL) on passenger ships — Arrangement — Amendment 1	船舶及び海洋技術－旅客船用低位置照明－配置－追補1	ISO15370:2021の誤りを修正することを目的とした追補。【イタリア主導】	－
SC 1	ISO 15371:2024	Ships and marine technology - Fireextinguishing systems for protection of galley cooking equipment	船舶及び海洋技術－船舶用厨房調理器具保護のための消火装置	厨房フード、ダクト、揚げ物用鍋その他のグリース付着の器具を保護する消火装置ユニットの設計、試験、使用方法について取り纏めたもの。【日本主導】 【背景】 2021年3月を〆切に実施された定期見直しで、提出された各国コメントを反映するため、改訂することが、2021年5月18～19日にWEBで開催された、ISO/TC 8/SC 1総会にて合意された。	－
SC 1	ISO 15372:2000	Ships and marine technology - Inflatable rescue boats -- Coated fabrics for inflatable chambers	船舶及び海洋技術－膨脹式救助艇－気室用のゴム引き布	1974年SOLAS条約（改正を含む）、救命設備コード（IMO決議MSC.48(66)）第1章1.2項及び第V章並びにIMO総会決議A.689(17)（改正を含む）に適合する救助艇の気室の構造に使用するゴム引き布に係る最低限の要求事項及び試験方法について取り纏めたもの。 IMO救命設備試験勧告MSC.81(70) の第 7.2.14項で脚注参照されている。	－
SC 1	ISO 15372:2000/DAmd 1:2021	Ships and marine technology - Inflatable rescue boats -- Coated fabrics for inflatable chambers -- Amendment 1: Oil-resistance test	船舶及び海洋技術－膨脹式救助艇－気室用のゴム引き布－追補	ISO 15372: 2000の第6.2.5.3項に記載される耐油試験の試験温度70℃が誤記であることが確認されたため、ISO/TR 6065の規定と同じ20℃に修正する追補発行を行った。	
SC 1 (SC 4より移管)	ISO 15516:2006	Ships and marine technology - Launching appliances for davit-launched lifeboats	船舶及び海洋技術－ダビット進水型救命艇の進水装置	ダビット進水救命艇用進水装置の性能、設計、構造、安全性、保守及び試験に関する要求事項を取り纏めたもの。Ro/Ro旅客船に装備する高速救助艇用進水装置を含む外洋航行船のダビット進水型救助艇の進水装置にも適用可能である。	－
SC 1	ISO/AWI 15516	Ships and marine technology - Launching appliances for davit-launched lifeboats	船舶及び海洋技術－ダビット進水型救命艇の進水装置	国際救命設備コード（LSAコード）の改正に関するIMO決議MSC272（85）（2008年）及びMSC.554（108）（2024年）に準拠し、救命艇の荷重計算に用いる人員の重量、救命艇の降下速度の要件、ワイヤーロープの材料の変更（電気的鋼製ワイヤーロープから防食ワイヤーロープに変更）等に関する改訂作業を行うことがSC 1で承認された。【中国主導】 初期WDを審議するための担当WG（TC 8/SC 1/WG 1）ウェブ会議が9月29日に開催された。	－

SC 1	ISO 15734:2001	Ships and marine technology - Hydrostatic release units	船舶及び海洋技術－水圧離脱装置	膨脹式救命いかだ及び非常用位置指示無線標識（EPIRB）等の自己浮揚式の救命設備に使用される自動水圧離脱装置の性能及び試験に係る要求事項について取り纏めたもの。 WG 1会議において、オランダのMr. Willem Heijboerから、再利用型と使い捨て型の基準の明確化、性能試験、目視検査等の見直しを目的とした改訂作業を行いたいと説明した、同氏をプロジェクト・リーダーとして改訂を進めることとなった。 現在時点では、具体的な改訂原案は提出されていない。	－
SC 1	ISO 15736:2006	Ships and marine technology - Pyrotechnic life-saving appliances -- Testing, inspection and marking of production units	船舶及び海洋技術－救命設備用火工品－製造ユニットについての試験、検査及び表示	IMOの救命設備の試験に関する勧告に従って評価、試験を受け、IMO救命設備コードにより型式承認を受ける救命設備用火工品の試験、検査、適合評価手順及び表示の方法について取り纏めたもの。この規格は、定期的に全ての原型試験を繰り返し実施するため、IMO救命設備の試験に関する勧告第2部第4節の要件には影響を及ぼさないが、この規格に適合することにより、主管庁が原型試験の実施頻度を決定する際に斟酌される可能性がある。	－
SC 1	ISO 15738:2019	Ships and marine technology - Maritime Safety - Gas inflation systems for inflatable life-saving appliances	船舶及び海洋技術－膨脹式救命器具のガス膨脹システム	1974年SOLAS条約（改正を含む。）及びIMO決議MSC.48(66)（救命設備コード）の要件に適合する膨脹式救命器具のガス膨脹システムの性能及び試験に関する要求事項について、IMO強制文書を補完するものとして取り纏めたもの。なお、ガス容器の品質、使用方法、試験に関する要件は各国様々であるため、この規格ではガス容器については対象外としている。 本規格の対象となるシステムは、生存艇、MESおよびその他の救命手段である。 日本主導で改訂作業を行い、主に、ガスシリンダーバルブとカット装置の一体型にも言及する規格とした。 LSAコード第4.2.2.3項で脚注参照されている。	ISO 15738:2002の対応規格： JIS F 2805:2006 (MOD)
SC 1	ISO 16437:2012	Ships and marine technology - Lifesaving and fire protection -- Atmospheric oil mist detectors	船舶及び海洋技術－救命及び防火－オイルミスト感知装置	船内で発生する引火性のオイルミストを検知するために設置される警報装置（オイル・ミスト・ディテクター）に対する要求事項、試験方法及び性能基準について取り纏めたもの。【日本主導】 ISO規格制定の5年後に実施される定期見直し投票が実施された（2017年4月15日～2017年9月4日）。SC 1メンバー間では、改訂を要望する提案はなかった。	－
SC 1	ISO 16681:2025	Ships and marine technology — Pilot transfer arrangements — Ship hull securing equipment	船舶及び海洋技術 – 水先案内人用の乗下船設備--船体固定装置	水先人の乗下船に用いられる、パイロットラダーとアコモデーションラダーを船体に固定することを目的とした装置の性能、保守及び検査について取り纏めている。【オランダ主導】 2025年8月に制定された。	－
SC 1	ISO 16706:2016	Ships and Marine Technology - Marine Evacuation Systems – Load calculations for mooring and passage	船舶及び海洋技術－降下式生存艇乗込装置の係留と降下の荷重算定	降下式乗込装置(MES)の係留と降下の荷重算定方法について取りまとめるもの。	－
SC 1	ISO/DIS 16706	Ships and Marine Technology - Marine Evacuation Systems – Load calculations for mooring and passage	船舶及び海洋技術－降下式生存艇乗込装置の係留と降下の荷重算定	MESの部品等の定義等を明確化するため、フランスのMr. Aurelien Olivinをプロジェクト・リーダーとして改訂を進めている。 DIS原案を作成するためのTC 8/SC 1/WG 1ウェブ会議が11月12日に開催された。	－
SC 1	ISO 16707:2016	Ships and marine technology - Marine evacuation systems - Determination of capacity	船舶及び海洋技術－降下式乗込装置—容量の算定方法	IMO救命設備コード及びMSC決議81(70)のPart1/12.6.1で定める手続きで要求される降下式乗込装置の容量の評価及び算定方法について取り纏めたもの。	－
SC 1	ISO/DIS 16707	Ships and marine technology - Marine evacuation systems - Determination of capacity	船舶及び海洋技術－降下式乗込装置—容量の算定方法	MESの部品等の定義等を明確化するため、フランスのMr. Aurelien Olivinをプロジェクト・リーダーとして改訂を進めている。 DIS原案を作成するためのTC 8/SC 1/WG 1ウェブ会議が1月29日に開催された。	－

SC 1	ISO 17338:2009	Ships and marine technology - Drawings for fire protection - Indications of fire rating by divisions for ships and high-speed craft	船舶及び海洋技術－防火に関する図面－船舶及び高速艇に関する区画ごとの防火等級の指示方法	船舶及び高速艇の防火のための防熱・構造仕切の防火等級の図面上のデザイン及び配置について取り纏めたもの。	－
SC 1	ISO 17339:2018	Ships and marine technology - Sea anchors for survival craft and rescue boats	船舶及び海洋技術－生存艇及び救助艇用シーアンカー	IMOの救命設備コードに従って生存艇及び救助艇に備えるシーアンカーの設計、性能及び原型試験方法に係る要求事項について取り纏めたもの。 ISO 17339:2002の改訂案を我が国主導で作成した。【日本主導】	－
SC 1	ISO 17631:2022	Ships and marine technology — Shipboard plans for fire control, damage control, life-saving appliances and means of escape	船舶及び海洋技術－火災制御、損傷制御、救命設備及び脱出手段のための船用図面	消防設備、防火構造、救命設備及び脱出設備に関する船舶に備える図面の内容、型式、設計、配置及び使用方法について取り纏めたもの。これらの図面において使用される図記号及び挿絵についても記述している。 2022年版にて、DCP（ダメージ・コントロール・プラン）に関する要件を追加された。	ISO 17631:2002が、JIS F 0051:2003(MOD)に対応している。
SC 1	ISO 17631:2022/AWI Amd 1	Ships and marine technology — Shipboard plans for fire control, damage control, life-saving appliances and means of escape — Amendment 1	船舶及び海洋技術－火災制御、損傷制御、救命設備及び脱出手段のための船用図面	ISO 244090-2と整合させることを目的として、追補（部分改訂）を作成することが、2026年6月に開催された、マルセイユ総会で合意された。	－
SC 1	ISO 18079-1:2018	Ships and marine technology - Servicing of inflatable lifesaving appliances - Part 1: General	船舶及び海洋技術－膨脹式救命設備の整備－第1部：総則	SOLAS第III章20.8に適合する膨脹式救命機器を整備するサービスステーションに関する一般要件について規定したもの。	－
SC 1	ISO 18079-2:2018	Ships and marine technology - Servicing of inflatable lifesaving appliances - Part 2: Inflatable life rafts	船舶及び海洋技術－膨脹式救命設備の整備－第2部：膨脹式救命いかだ	SOLAS第III章20.8に適合する膨脹式救命いかだを整備するサービスステーションに関する事項について取り纏めたもの。	－
SC 1	ISO 18079-3:2018	Ships and marine technology - Servicing of inflatable lifesaving appliances - Part 3: Inflatable lifejackets	船舶及び海洋技術－膨脹式救命設備の整備－第3部：膨脹式救命胴衣	SOLAS第III章20.8に適合する膨脹式救命胴衣を整備するサービスステーションに関する事項について取り纏めたもの。	－
SC 1	ISO 18079-4:2018	Ships and marine technology - Servicing of inflatable lifesaving appliances - Part 4: Inflatable marine evacuation systems	船舶及び海洋技術－膨脹救命設備の整備－第4部：膨脹型降下式乗込装置	SOLAS第III章20.8に適合する膨脹型降下式乗込装置を整備するサービスステーションに関する事項について取り纏めたもの。	－
SC 1	ISO 18079-5:2018	Ships and marine technology - Servicing of inflatable lifesaving appliances - Part 5: inflated rescue boats	船舶及び海洋技術－膨脹式救命設備の整備－第5部：膨脹型救助艇	SOLAS第III章20.8に適合する膨脹型救助艇を整備するサービスステーションに関する事項について取り纏めたもの。【日本主導】	－
SC 1	ISO 18813:2022	Ships and marine technology - Survival equipment for survival craft and rescue boats	船舶及び海洋技術－生存艇及び救助艇の艤装品	1974年SOLAS条約（改正を含む）及びIMO救命設備コードに適合する生存艇及び救助艇の艤装品に係る設計、性能、使用方法について取り纏めたもの。また、乗組員及び管理者による定期点検、保守の指針についても記述している。 LSAコード第IV章4.1.5.1.18および19で脚注参照されている。	－
SC 1	ISO 19292:2014	Ships and marine technology - Lifesaving and fire protection - Point-type resettable flame detectors for ships	船舶及び海洋技術－救命及び防火－船舶用スポット型炎感知器	船舶用火災探知装置に使用されるスポット型炎感知器の要求事項、試験方法及び性能判定基準について取り纏めたもの。【日本主導】	－
SC 1	ISO 19891-1:2017	Ships and marine technology - Specifications for gas detectors intended for use onboard ships - Part 1: Portable Gas detectors for atmosphere testing of enclosed spaces	船舶及び海洋技術－船上における使用を目的としたガス検知器の仕様－第1部：閉鎖区域の気質を測定するための可搬型ガス検知器	船舶の閉鎖区域における作業従事者の安全確保のために、様々なガスを検知するために用いるマルチガス検知器の設計、製造、試験等について取り纏めたもの。 我が国の意見を十分に反映した形で、2017年7月に制定された。	－

SC 1	ISO 19897:2019	Ships and marine technology - Marine evacuation systems- Condition of icing	船舶及び海洋技術－降下式生存艇乗込装置－氷結試験	IMOで作成したLSAコードの6.2.2.1項を補完するための降下式生存艇乗込み装置の氷結試験について取り纏めたもの。	－
SC 1	ISO 19898:2019	Ships and marine technology – Life-saving appliances and arrangements - Means of recovery of persons	船舶及び海洋技術－救命設備および配置- 落水者の回収方法	水中または生存艇から安全に回収する目的にかなう可能性のある救命設備および専用の回収装置の評価を基に、船ごとに定められている落水者の回収装置を選択する際の助けとなる指針及び性能基準を取り纏めたもの。一般、性能、素材、表示、機能、および試験要件を定めている。	－
SC 1	ISO 19912:2019	Ships and marine technology – Servicing of immersion suits, anti-exposure suits and constant wear suits	船舶及び海洋技術－イマーション・スーツ、耐曝露スーツ及び常時着用型スーツの整備要件	ISO 18079-1と併せて、イマーション・スーツ、耐曝露スーツ及び常時着用型スーツの整備及び試験要件を取り纏めたもの。	
SC 1	ISO 21195:2020	Ships and marine technology - Systems for the detection of persons while going overboard from ships (Man overboard detection)	船舶及び海洋技術－船上からの落水者（MOB）検知システム	船上からの落水者を検知するシステムの技術要件を取りまとめたもの。 システムオペレーションの原則、構成、制御、設計及び試験、落水者検知等の要件を規定。	－
SC 1	ISO 22488:2011	Ships and marine technology – Shipboard fire-fighters' outfits (protective clothing, gloves, boots and helmet)	船舶及び海洋技術－船上の消防用装備（防護服、グローブ、ブーツおよびヘルメット）	乗組員が船上での消火活動の際に用いる防護服、グローブ、ブーツ及びヘルメットの規定を取りまとめたもの。固定消火システムを運用する前の段階（炎の中に入ることを意図しない）小規模から中規模の火災に適用する。	
SC 1 (SC 4より移管)	ISO 22673:2008	Ships and marine technology - Launching appliances for free-fall lifebaotas	船舶及び海洋技術－自由降下式救命艇の進水装置	自由降下式救命艇の用語を定義し、設計、建造、許諾、検査、性能、運航および保守要件を規定している。船舶および沿岸のプラットフォームから自由降下式救命艇を進水するために、傾斜ランプを用いる進水装置に適用可能な規格である。 2018年9月のTC 8総会で、審議をTC 8/SC 1に移行する旨の決議387が出された。 Resolution 387 Based on an internal collaboration agreement reached by SC1 and SC4, TC8 re-affirms that all standards on life-saving appliances arrangements (such as those covered by SOLAS Chapter III and LSA Code) would be with SC1 and consequently resolved to transfer ISO/AWI 23574 from SC4 to SC1 for completion under SC1 and its WG1. Noting this TC8 also agreed to transfer published standards ISO 13122:2011, ISO 15516:2006 and ISO 22673:2008 from SC4 to SC1 at the next revision.	
SC 1	ISO 23269-1:2008	Ships and marine technology - Breathing apparatus for ships - Part 1: Emergency escape breathing devices (EEBD) for shipboard use	船舶及び海洋技術－船舶用呼吸具－第1部：船上で使用する非常脱出用呼吸具(EEBD)	1974年SOLAS条約2000年改正第Ⅱ-2章D部及びIMO消防設備コード第3章において要求されている非常脱出用呼吸具(EEBD：危険な環境下で居住区域又は機関区域から脱出のに必要な酸素を供給する装置）の性能仕様について取り纏めたもの。	－
SC 1	ISO 23269-2:2011	Ships and marine technology - Breathing apparatus for ships - Part 2: Self-contained breathing apparatus for shipboard firefighters	船舶及び海洋技術－船舶用呼吸具－第2部：船上消防用自蔵式呼吸具	1974年SOLAS条約（改正を含む。）第Ⅱ-2章C部及びIMO消防設備コード第3章において船舶への設置が義務付けられている自蔵式呼吸具の仕様について取り纏めたもの。	－
SC 1	ISO 23269-3:2011	Ships and marine technology - Breathing apparatus for ships - Part 3: Self-contained breathing apparatus (safety equipment) required by the IMO IBC and IGC Codes	船舶及び海洋技術－船舶用呼吸具－第3部：IMO IBCコード及びIGCコードで要求される自蔵式呼吸具(安全設備)	IBCコード及びIGCコードにおいて要求されている自蔵式呼吸具の仕様について取り纏めたもの。	－
SC 1	ISO 23269-4:2010	Ships and marine technology - Breathing apparatus for ships - Part 4: Self-contained breathing apparatus for emergency escape required by the IMO IBC and IGC Codes	船舶及び海洋技術－船舶用救命呼吸器－第4部：IMO IBC及びIGCコードで要求される非常脱出用自蔵式呼吸具	IBCコード14.2.8.2項及びIGCコード14.4.2.2項において要求される非常脱出用自蔵式呼吸具の性能仕様を提供するもの。なお、この装具は、消防作業、貨物取扱作業、炎への接近、進入を想定したものではない。	－

SC 1	ISO 23678-1:2022	Maintenance, thorough examination, operational testing, overhaul and repair of lifeboats (including free-fall lifeboats) and rescue boats(including rescueboats), launching appliances and release gear service personnel - Part 1: General requirements for training providers	救命艇(フリーフォールを含む)及び救助艇(高速救助艇を含む)、進水装置及び離脱装置の整備、総点検、運用試験、オーバーホール及び修理要員－第1部:訓練プロバイダーの一般要件	ISO 23678シリーズは、救命艇、救助艇、進水装置及び離脱装置の整備、総点検、運用試験、オーバーホール及び修理に要求される能力を開発・維持できるように人員を訓練するための安全で統一したアプローチを規定する。 第1部は、技能の道筋、資源、施設および製造者の訓練を受ける人員あるいはASP(Authorized Service Provider)の認定要件を規定する。	–
SC 1	ISO 23678-2:2022	Maintenance, thorough examination, operational testing, overhaul and repair of lifeboats (including free-fall lifeboats) and rescue boats including rescueboats), launching appliances and release gear service personnel - Part 2: Service Personnel Initial Training Standard	救命艇(フリーフォールを含む)及び救助艇(高速救助艇を含む)、進水装置及び離脱装置の整備、総点検、運用試験、オーバーホール及び修理要員－第2部:初級技術者向けの訓練標準	ISO 23678シリーズは、救命艇、救助艇、進水装置及び離脱装置の整備、総点検、運用試験、オーバーホール及び修理に要求される能力を開発・維持できるように人員を訓練するための安全で統一したアプローチを規定する。 第2部は、製造者またはASPが認証する人員のための初級訓練プログラムを規定する。	–
SC 1	ISO 23678-3:2022	Maintenance, thorough examination, operational testing, overhaul and repair of lifeboats (including free-fall lifeboats) and rescue boats(including rescueboats), launching appliances and release gear service personnel - Part 3: Level 1 Technical - Training Standard	救命艇(フリーフォールを含む)及び救助艇(高速救助艇を含む)、進水装置及び離脱装置の整備、総点検、運用試験、オーバーホール及び修理要員－第3部:レベル 1技術－訓練標準	ISO 23678シリーズは、救命艇、救助艇、進水装置及び離脱装置の整備、総点検、運用試験、オーバーホール及び修理に要求される能力を開発・維持できるように人員を訓練するための安全で統一したアプローチを規定する。 第3部は、[製造者または]ASPが認証する人員のためのレベル1の管理された環境での教育及び実地訓練プログラムを規定する。	–
SC 1	ISO 23678-4:2022	Maintenance, thorough examination, operational testing, overhaul and repair of lifeboats (including free-fall lifeboats) and rescue boats including rescueboats), launching appliances and release gear service personnel - Part 4: Level 2 infiled competence assessment	救命艇(フリーフォールを含む)及び救助艇(高速救助艇を含む)、進水装置及び離脱装置の整備、総点検、運用試験、オーバーホール及び修理要員－第4部:レベル2　インフィールドの技能評価	ISO 23678シリーズは、救命艇、救助艇、進水装置及び離脱装置の整備、総点検、運用試験、オーバーホール及び修理に要求される能力を開発・維持できるように人員を訓練するための安全で統一したアプローチを規定する。 第4部は、製造者またはASPが認証する人員のためのレベル2の技能評価を規定する。	–
SC 1	ISO 24136:2021	Ships and marine technology - Pilot ladder winch reel	船舶及び海洋技術－パイロットラダーウィンチリール	船のパイロットラダーウインチリールの用語と定義、設計、特徴及び、試験方法などを規定する。	
SC 1	ISO 24408:2005	Ships and marine technology - Position-indicating lights for life-saving appliances -- Testing, inspection and marking of production units	船舶及び海洋技術－救命設備用位置表示灯－製品ユニットの試験、検査及び表示	救命胴衣、生存艇、自己点火灯、救命浮環等の救命設備に使用される位置表示灯の製品試験、検査及び表示に係る要求事項について取り纏めたもの。各国海事主管庁又はその代行機関により型式承認された位置表示灯に適用する。	–
SC 1	ISO 24409-1:2010	Ships and marine technology - Design, location and use of shipboard safety signs, safety-related signs, safety notices and safety markings - Part 1: Design principles	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、安全関係標識、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法－第1部:設計原則	乗船者に安全に関する情報を提供するためのサイン、表示および警告のデザインの原則について取りまとめたもので、SOLAS条約第II-2章第13規則3.2.5.1項及び第III章第11規則第5項並びにISO 17631を補完するもの。なお、船上に備える図面や書類に使用する図記号は対象としていない。	–
SC 1	ISO 24409-1:2020	Ships and marine technology - Design, location and use of shipboard safety signs, fire control plan signs, safety notices and safety markings	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、火災制御図、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法－第1部:設計原則	乗船者に安全に関する情報を提供するためのサイン、表示および警告のデザインの原則について取りまとめたもので、SOLAS条約第II-2章第13規則3.2.5.1項及び第III章第11規則第5項並びにISO 17631を補完するもの。なお、船上に備える図面や書類に使用する図記号は対象としていない。	–

SC 1	ISO 24409-2:2014	Ships and marine technology - Design, location and use of shipboard safety signs, safety-related signs, safety notices and safety markings - Part 2: Catalogue	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、安全関係標識、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法－第2部：カタログ	船上の安全標識及び安全関係の警告の標準様式を取り纏めたもの。	–
SC 1	ISO/FDIS 24409-2	Design, location and use of shipboard safety signs, fire control plan signs, safety-related signs, safety notices and safety markings - Part 2: Catalogue of shipboard safety signs and fire control plan signs	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、火災制御図、安全関係標識、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法－第2部：船上の安全標識及び火災制御図での標識のカタログ	ISO 24409-2:2014に掲載されている記載されている情報を簡略化し、規格全体を再構築し、海事用の新しい安全標識を追加することを目的として改訂作業を実施している。【オランダ主導】	–
SC 1	ISO 24409-3:2014	Ships and marine technology - Design, location and use of shipboard safety signs, safety-related signs, safety notices and safety markings - Part 3: Code of practice	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、安全関係標識、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法－第3部：実務要領	安全、火災制御関係の標識に関し、表示位置、大きさ並びに標識及びこれを補完するテキストの使用方法に関する指針を取り纏めたもの。	–
SC 1	ISO 24409-4:2023	Ships and marine technology -- Design, location and use of shipboard safety signs, safety-related signs, safety notices and safety markings -- Part 4: Escape plan signs used for general emergency information	船舶及び海洋技術－船上の安全標識、安全関係標識、安全に係る警告及び安全に係る表示のデザイン、位置の選定及び使用方法：第4部　一般的な緊急情報で使用される避難経路図の標識	避難経路図（Escapeplan）で使用される図記号を取り纏めたもの。【イタリア主導】	–
SC 1	ISO 27991:2008	Ships and marine technology - Marine evacuation systems - Means of communication	船舶及び海洋技術－降下式乗込装置－連絡手段	SOLAS条約第III章第6規則4.4項により要求される降下式乗込装置の乗込み口とプラットフォーム間母生存艇との間の連絡手段について取り纏めたもの。	–
SC 1	ISO 24452:2023	Ships and marine technology - Personal and group survival kit for use in polar water	船舶及び海洋技術 – 極海域で用いる個人用/グループ用サバイバルキット	極海コードで要求される、人の体温の維持に十分な断熱性を提供できる救命器具と組み合わせた個人用及びグループ用サバイバルキットについて、試験要件または最小値とともに明確にすることを目的とした規格。 極海域を航行する際に必要とされる個人用、又はグループ用のサバイバルキットの、用語と定義、設計、特性及び試験方法などをと取り纏めたもの。	–
SC 1	ISO/CD 25124	Ships and marine technology -- Offshore gangway system	船舶及び海洋技術－オフショアギャングウェイ	オフショア用ギャングウェイシステム（以下「ギャングウェイシステム」という）の分類、設計、要件、および試験方法を規定することを目的としている。（中国提案）	–
SC 1	ISO 24569:2023	Ships and marine technology — External firefighting system test method	船舶及び海洋技術 – 外部消火システムの試験方法	船上に設置後の外部消火システムの主要な性能試験方法（試験目的、試験準備、試験条件、試験項目及び手順を含む）を取り纏めることを目的としている。【中国】	–
SC 1	ISO/CD 25936	Collapsible Personnel Transfer Baskets	折り畳み式人員移送バスケット	船舶または海上施設間の人員移動のための折り畳み式バスケットの設計、製造、試験および認証に関する要件を取り纏めることを目的としている。 初期WDに関する意見照会がTC 8/SC 1/WG 1の専門家に対して1月27日期限で行われた結果、中国及び米国の専門家から意見が提出された。	–